



文京支部 (有) オオシバ 大柴和男

東京都製紙原料協同組合

第51回通常総会開催

日時：5月17日(木) 午後3時
 会場：上野精養軒 3階「桐の間」
 司会 清水 弘允 常任理事
 開会の辞 坂田秀一郎 副理事長

議長 近藤 勝 副理事長
 閉会の辞 榎原 邦明 常任理事



去る5月17日(木)、東京都製紙原料協同組合第51回通常総会及び第45回永年勤続従業員表彰式が開催されました。

当日は、午後まで降っていた雨も総会開始前には上がり、爽やかな春の日差しが差し込むほどの天候となりました。会場は、木立も一層緑色を増した上野公園内精養軒で行われ、多数のご来賓、業界新聞社の方々のご出席くださりま

した。

日本の景気は、長期にわたるデフレをようやく脱して、穏やかに上昇しておるようですが、製紙産業を取り巻く環境は、国際化がいちだんと進む中で厳しい状況にあり、私共が従事する古紙の業況は、本当に大変な時代となっておりますが、資源循環型社会形成に向けて、その一端を担っている古紙の再生利用の重要性は、環境問題とからめて地球規模でますます高まっております。

古紙発生元に関して言えば、全体の回収量が増えているとはいえ、それは回収率がUPしている事が要因であつて決して古紙発生元が増えているわけではない。特に産業古紙の発生元である出版、印刷業界のマイナス成長は止まらず、そこを主たる古紙回収先としている我々の組合員は、苦しい経営を強いられているのが現状であります。

この構造変化にどのように対応するかは、古紙業界、特に集荷業者にとって重要な課題であります。

理事長挨拶

東京都製紙原料協同組合
理事長 皆川 昇



本日は東京都製紙原料協同組合、第51回通常総会の開催に際し、組合員の皆様はじめ業界関連の皆様におかれましては、公私とも本当にお忙しい中を、大勢のご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。

さて、ここ数日のマスコミ等から発表された報道によりますと、現時点では7割の集計結果ながら、全国上場企業の前期の経常利益は12%増と、4期連続で最高益を更新中と報じており、故に嘗てのような成長率には及ばぬものの、好景気を持続している経済状況との政府発表になるのでしょうか。唯、残念な事に、業界の大事なお得意先である上場製紙会社各社の決算結果は、のきなみ当初予算からの減益を公表しており、非上場のメーカー各社も家庭紙メーカーを含め、原材料等の高騰を一大理由に、

大変な業況にあるようです。つい先日のNHKの朝のニュースにても、ダンボール古紙の高騰などと報道されましたが、非鉄原料や鉄スクラップに比較して、とても高騰などと言える価格帯では無いでしょう。安値購入のメーカー側にとり大変だと、従来価格からの上昇率をアピールしたのですが、しかし、公共放送の報道ゆえ、業界にとつての今後の影響が懸念されます。

当業界の前期1年を振り返ってみますと、最大のニュースは王子製紙による北越製紙の敵対的株式公開買付(TOB)騒動ではないでしょうか。皆様ご承知の結果に終わりましたが、王子製紙の新たな設備投資を呼び、古紙の新規大需要先の発生となり、従前より発表のあった新規古紙需要先にも加わることになり、古紙輸出市場の中国における生産設備拡大報道ともからみ、業者間の思惑も含めての、原料古紙争奪戦の様相を呈してきました。お陰というか結果は、バブル期以降、極めて低位に据え置かれていた古紙価格が、昨年からの復元しだして、直近に至り10年以上前の価格帯に、やっと戻るところとなりました。

相場の回復に伴つての問題も噴出です。大手商社によるヤード展開や、中国メーカー関連の外国企業に依る古紙購入窓口事務所の開設、機密書類等のメーカー直接受け入れの増大、行政回収古紙の極高値落札問題も含めて、何時もながらの、流通良好時に起こる業者間の一段の過当競争による、学習効果と言うか、実りの無い業況となっている現状です。

成熟市場と言われる国内で、一年後には再度起こるであろう洋紙乱売合戦時に、原料として古紙の需給や、価格はどうなるのか分かりませんが、近時までの家庭紙業界を見るごとく、当業界に取つても良い事態になるように思えません。多少と云えども光明の見えている今こそが、業界団体としての強い団結を改めて呼びかける時期と考えます。

終わりに私事になりますが、2期4年に亘り勤めさせていただきました代表理事の大役も、本日を持って退任を申請いたします。在任中に賜りました皆様からの、温かいご協力やご指導ご鞭撻に対しまして、高い席から失礼ながら、心より厚く御礼を申し上げます。

本日は51回の総会にご出席を賜り誠に有難うございます。本総会の議事に関しては、2慎重審議の上にも諸事円滑なる進行を、重ね重ねお願いを申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

議案審議

〔組合員総数228名中 本人出席38名、代理出席2名、委任状提出者112名、議決権有総数152名〕

一号議案 平成十八年度事業報告書承認の件
(朝倉行彦 事業部副部長)

二号議案 平成十八年度財産目録、貸借対照表および損益計算書承認の件

- (坂田 智 会計理事)
 - 三号議案 平成十八年度剰余金処分案承認の件
(坂田 智 会計理事)
 - 監査報告(乗附孝之 監事)
 - 四号議案 平成十九年度事業計画案決定の件
(坂内大介事業部副部長)
 - 五号議案 平成十九年度における収支予算なら
びに経費の賦課及び徴収方法決定の件
(坂田 智 会計理事)
 - 六号議案 平成十九年度における借入金額の最
高限度額決定の件
 - (坂田 智 会計理事)
 - 七号議案 平成十九年度における加入手数料額
決定の件 (坂田 智 会計理事)
 - 八号議案 定款一部変更の件
(近藤 勝議長より)
 - 九号議案 役員報酬の件
(近藤 勝議長より)
 - 十号議案 理事及び監事選挙の件
(近藤 勝議長より)
- 以上、第一号議案から第十号議案はすべて原案
通り可決されました。



議長・坂田常任理事



坂田副理事長



梶原常任理事

最後は梶原邦明常任理事が閉会の挨拶をされ
て通常総会は滞りなく終了致しました。
尚、新理事と監事は次のとおりです。

理事39名(順不同・敬称略)

〔理事長〕 近藤 勝

〔副理事長〕 清水 弘允

〔副理事長〕 松井 隆宏

〔専務理事〕 夏目 茂

〔理事〕

近藤 正彦 村上 雄三 名古路 勝彦

菊池 武美 坂内 大介 大柴 和男

山田 祐康 上田 晴健 高山 昭二郎

近藤 昌和 久保田 貞行 藤井 潔

大久保 信隆 藤井 康夫 清水 明利 廣

田 圭吾 小林 健一 赤松 源裕 新井

勝夫 増田 唯之 高橋 宏明

脇 克美 宮崎 勝保 長井 義人 坂

田 智 坂田 秀一郎 赤染 清康

山口 勝弘 石橋 駒雄 黒田 義孝

皆川 昇 工藤 裕樹 宮川 茂 辻

忠敏 竹内 義人

〔監 事2名〕（順不同・敬称略）
腰越 彰 朝倉 行彦

来賓（祝辞）

□ 衆議院議員 当組合名誉顧問
松原 仁 様

公人のため、写真は省略いたします。

経済産業省 製造産業局

紙業生活文化用品課 課長補佐

岡宮 潔 様

公人のため、写真は省略いたします。

衆議院議員であり当組合名誉顧問でもある松原仁様と岡宮清課長補佐様、公務多忙の中間をさいてかけつけて来てくださり、通常総会で挨拶されました。

第45回

永年勤続従業員表彰式

午後4時30分

通常総会終了後、引続き行われた従業員表彰式には多数のご来賓の方々にご参加くださりました。

開会の挨拶を高山昭二郎総務部長がされたあと、赤染理事の司会で本日表彰式に出席された被表彰従業員4名の方々に、皆川前理事長から表彰状と記念品が贈呈されました。

司 会 赤染 清康 理事
開会の辞 高山昭二郎 理事・総務部長
閉会の辞 坂田 智 理事

- ご来賓 (出席者)
- 衆議院議員 当組合名誉顧問 松原 仁 様
- 経済産業省 製造産業局 紙業生活文化用品課 課長補佐 岡宮 潔 様
- 経済産業省 製造産業局 紙業生活文化用品課 係長 尾里 篤史 様
- 前東京都議会議員 鳩山 太郎 様
- (財)古紙再生促進センター 専務理事

鈴木 節夫 様

□ (財)古紙再生促進センター 常務理事 堀 隆男 様

□ 全国製紙原料商工組合連合会 理事長 栗原 正雄 様

□ 東京都リサイクル事業協会 会長 畑 俊一 様

□ 東京都資源回収事業協同組合 理事長 新井 英一 様

□ 商工組合中央金庫上野支店 支店長 中川 祐一 様

□ 東京都中小企業団体中央会 課長 野口 雅春 様

□ 東京返本加工協同組合 理事長 藤井 康夫 様

□ 東京都製紙原料協同組合 相談役 坂田 亮作 様

□ 東京都製紙原料協同組合 相談役 野村 宮三郎 様

□ 大同生命保険(株)上野支社 支店長 國領 慎吾 様

□ 大同生命保険(株)上野支社 課長 服部 正史 様

□ あいおい損害保険(株)東京北支店 課長 伊藤 篤史 様

□ 近藤保険企画社 代表取締役 近藤 於修 様

□ 杉山会計事務所 所長 杉山 靖彦 様

□ 納土社会保険労務士事務所

納土 祥滋 様

表彰従業員氏名

□ 男性 ◆ 女性 (順不同、敬称略)

(勤続二十年以上)

□ 松木 一仁 (三弘紙業(株))

□ 片山 幸雄 (三弘紙業(株))

□ 広田 栄一 (株 富澤)

□ 谷澤 清司 (有 黒田商事)

□ 小田島 信雄 (有 黒田商事)

□ 石渡 修二 (皆川商事(株))

(勤続十五年以上) 三名

□ 太田 吉計 (株 富澤)

□ 熱田 利治 (美濃紙業(株))

□ 寺田 英昭 (美濃紙業(株))

(勤続十年以上) 七名

□ 采野比 邦博 (株 富澤)

◆ 佐藤 由美子 (株 富澤)

◆ 柘植 悦子 (美濃紙業(株))

□ 駒井 克久 (株 共益・商会)

◆ 原田 周子 (株 共益・商会)

□ 牛島 利之 (株 共益・商会)

□ 脇坂 正明 (株 宏文社)

(勤続五年以上) 十四名

□ 山口 聡 (グリーンロジテック(株))

□ 杉田 和成 (グリーンロジテック(株))

□ 村田 修一 (株 富澤)



高山総務部長

- ◆永澤 多恵子 (株) 富澤
 - 佐藤 智夫 (株) 赤松
 - 堺和 伸行 (美濃紙業株)
 - ◆田中 勝子 (美濃紙業株)
 - 阪口 聡 (美濃紙業株)
 - 初芝 広之 (美濃紙業株)
 - 大上 祐一 (株) 共益・商会
 - 谷津田 貴弘 (株) 共益・商会
 - 星 克己 (株) 共益・商会
 - 福島 学 (皆川商事(株))
 - 元木 潤 (皆川商事(株))
- 以上 三十名 (女性五名)



来賓(祝辞)
 □(財)古紙再生促進センター 専務理事
 鈴木 節夫 様



□ 全国製紙原料商工組合連合会 理事長
 栗原 正雄 様

祝賀懇親会 午後5時30分

引き続き、午後5時30分より2回藤の間で祝賀懇親会が行われました。

衆議院議員・鳩山邦夫先生の代理で元都議会議員の鳩山太郎様も、ご多忙の中駆けつけてくださり、また、同じ上野精養軒で当日総会を行った組合青年部の皆さんも加わって賑やかな祝賀会となりました。

司会 宮崎 勝保 理事

来賓、祝辞

- 東京都リサイクル事業協会 会長
畑 俊一 様
- 東京都資源回収事業協同組合 理事長
新井 英一 様
- 前東京都議会議員
鳩山 太郎 様
- 乾杯のご発声
- 東京返本加工協同組合 理事長
藤井 康夫 様



また、都合がつかず来られませんでした当組合顧問の衆議院議員鳩山邦夫先生、商工組合中央金庫理事長 江崎格様、組合事業でお世話になっている大同生命保険(株) 取締役社長 倉持治夫様よりご祝電を頂戴いたしました。



新理事長挨拶

近藤 勝



第51回通常総会におきまして、今期理事長という大役をお受けする事になりました。前皆川理事長の事業方針を受け継いで、組合の活性化、改革、そして社会的役割の果たせる組合作りにより一層努力して参りたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

総会時のご挨拶でも申し上げました通り、青年部に入部させて頂いてから30年が過ぎました。当時ドル300円位であった為替も徐々に円高となり、製品の輸出国であった日本は内需主導型に方向転換し、円高になる度に輸入パルプの価格が下落、輸入紙の増加による国内製品価格の下落、そしてゴミ問題から行政主導による古紙回収増など、製紙メーカーの苦境と共に古紙市況も長期に亘り低迷を続けて参りました。産業古紙の発生地もかつては京橋を中心に日本橋、神田、文京と移り、地価の高騰に伴って板橋、戸田、川越方面を中心に高速道路整備もあり現在は関東全域に広がりを見せております。今、組合の活性化という事を考えた時、常に時代に即した活動を企画して行くことは大変

重要なことですが、やはり各支部が活性化しなければ空回りになってしまいます。先程申し上げましたように古紙の発生地が京橋、日本橋、神田という時代に作られた現在の10支部体制で今後も活動を続けて行くことができるのか、支部にはそれぞれの古い伝統と歴史があるのは充分承知の上ではありますが、大きな時代の流れの転換期である今、枠組みの見直しを図り、より活力ある支部づくりを検討するべきではないかと考えております。又、我々の業界がこれからも日本の社会に対し重要な役割を果たしていくという意味においても隣接した業界、既に製本業界とは交流を持っておりますが、印刷業界、紙器業界、産廃業界等との情報交換の場を作り相互理解を深めて行きたいと思っております。昨年の古紙の回収率は78%でした。東京都心部では産業古紙の発生は大きく減少しておりますが、逆にオフィス古紙の大発生地に変貌しております。我々組合員も積極的にオフィス古紙の回収にも取組まなければならないと思っております。既に各種許認可を取得したり、ベラーを導入したりして回収増強を図っている組合員も大勢おられます。全組合員がもつともつと回収促進に取り組めるよう広報を通して様々な情報の収集、提供にも努めてゆきたいと思っております。

最後になりますが、組合員の親睦をより深める為の全体新年会が前皆川理事長により立ち上げられました。今後も引き続き継続して行くと共に全員が参加する事のできるゴルフコンペや海外研修会の開催も若い青年部の力をお借りし

ながら進めて参りたいと思っております。どうか役員の皆様を始め諸先輩方、組合員の皆様方にはご指導、ご鞭撻、又、多大なるご協力をお願い申し上げます。

副理事長挨拶

清水 弘允



第51回東京都製紙原料協同組合総会に於いて発足した近藤新体制の中、副理事長に就任いたしました。

今年度の事業方針を読んでみると、「伝統を守りつつ変化に対応した活動をする為、柔軟な組織作り、組織運営をする」と書いてあります。具体的にはどうしたら良いのでしょうか。変化に対応すると言っても世の中いづも自分に都合よく変化するとは限りません。一方で「変化はチャンス」と言う考えがあります。変化は起こるものであって、巨大企業でもないかぎり自分で起こすわけには行かないのですから、もし「変化はチャンス」であるなら、それは変化が起きた時、それがチャンスになるように自分の方を変えていくと言う事でしょう。

我々組合員は、一口に古紙業者と言っても、

会社の規模も違えば、扱い品目も千差万別、集荷、直納をどこで区別するのか分かりませんが業態も様々です。組合をお世話する場合、変化が起きない様にお世話する事は無理ですから、変化する事を前提に、どの様に組合員に役立つようなお世話をすればいいのか考えるのが組合活動だと思います。

そうであれば、世の中の変化、業界の変化をいち早く捉え、情報として組合員に流す事が、先ず一番の仕事ではないかと思えます。その上で個々の組合員が個別企業の制約の中、自分で選択し決断をするしかありません。しかし一緒に対応できる部分があれば極力、組合として対応すべきではないでしょうか。

もう一つ大切な事は、世代交代への対応だと思えます。よく言われるように、人間は自分の寿命の範囲でしか物事を考えないと言います。実際は人により事情は異なりますが、そう言う傾向は否定できません。若い世代は自分の寿命が年寄りより長いから、より先の事まで真剣に考えるでしょう。ですから古紙業界の将来を考えるには、若い世代を積極的に参加させたいものです。組合員の皆様の会社の後継者と考えている方がいらしたら、是非青年部に入れてください。そこで若い者同士、古紙業界の将来を論じてもらおうではありませんか。それは古紙業界にプラスであるだけでなく、個々の組合員企業にとつても直接的なプラスをもたらす事でしょう。また若い世代は大いに遊んだらいいでしょう。しかし、ただ遊ぶだけでは勿体ない気がし

ます。テーマを持った勉強会を開き、先輩からも古紙業界の歴史、経験を学び、今後の古紙業界のあり方について大いに議論し、問題意識を共有し、その過程で人間関係が深まれば、それからの遊びがより楽しいものになるのではないのでしょうか。

近藤理事長のもと試行錯誤の道が続くと思いますが、古紙業界をより良い業界にしようと言う共通認識の下、皆さんのご協力をお願いいたします。

副理事長挨拶

松井 隆宏



この度、思ってもいなかった副理事長を拝命することになりました。集荷部出身ということ

ことで前坂田副理事長を引き継ぐものであります。長期に亘り古紙市況の低迷の中、坂田副理事長兼集荷部長には本当にご苦勞様でした。

私、大変な重責であり心を引き締め微力ながらご期待に添える様頑張る所存でございます。近年古紙流通経路も変化してきている様に思います。そんな中、集荷、直納それぞれの立場、生きる道はどうみつけたらいいのか、産業古紙

の発生は減少しているが今後どのような方向に向かうのか、そして製紙メーカーはどのような方向に向かうのか、かつて紡績工場が次々閉鎖になったようなことはないだろうか。

色々心配事はつきない中、役員、組合員の皆様と共に近藤副理事長を中心に組合発展の為、微力を尽くす所存でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

青年部総会開催

青年部幹事長 廣田 圭吾

去る5月17日(木)、本部の総会と同じ日に青年部も上野精養軒で総会を開催いたしました。

議案

第一号議案 平成十八年度事業報告承認の件

第二号議案 平成十八年度会計決算報告承認の件

の件

監査報告

第三号議案 平成十九年度事業計画決定の件

第四号議案 平成十九年度収支予算案決定の件

件

第五号議案 幹事長選挙の件

右記の議案はいずれも賛成多数で承認されました。

また、新幹事長には私、廣田圭吾が選出されました。さらに本部から松井副理事長、朝倉監事にご出席いただきました。

青年部は工藤充彦幹事長を軸に部員の情報交換や組合活動のお手伝いなどを今日までしてきました。

今年度につきましては、新事業取り組みへの意見交換、研修旅行、他組合との交流、勉強会などを行う予定です。

また、幹事長改選に伴い、幹事にもフレッシュなメンバーが増えました。青年部が持つ「チャレンジするエネルギー」をしっかりと組合活動全般に注入させていければならないと考えて

おります。

総会終了後は本部の祝賀懇親会にも参加させて頂きました。近藤理事長をはじめ、本部役員の皆様、大変ありがとうございました。



青年部 幹事長挨拶

廣田 圭吾



今期より青年部幹事長の責を賜った荒川支部の廣田圭吾です。

父、晴美が代表取締役を務める(株)廣田は、祖母、耕が昭和十年に日暮里の地で廣田商店として創業し、以来七十年にわたり製紙原料商を営んでおります。戦後の混乱期はもとより、厳しい市況が続きやすかったこの業界で、「廣田」の看板を守り続けた苦勞は、自分の想像を超えたものに違いなかつたはずです。幼い頃見た、古新聞を担ぐ祖父と父の姿は今でも強く記憶しております。祖父は既に他界しましたが、大きな手と背筋がピンと伸びた姿勢の良さが印象的でした。

長男でした自分への祖母の口癖は「あんちゃん、大きくなったら紙屋になるんだよ」でした。小学校の卒業文集にも将来の夢は「紙屋」とあり、ある意味、夢が叶った幸せ者です。しかし祖父と父には一度も後継ぎの話をされた覚えがなく、「親の背中を見て育て！」を地で رفتるんだなあ、と当時はポジティブに受け取っ

ていましたが、今、思えば父達が募黙だったせい気もしています(笑)。

正直、組合活動については日も浅く、工藤充彦前幹事長に誘われて青年部に顔を出すようになりましたが、本部の活動には疎く、青年部幹事長は無論、兼任する荒川支部理事の責務もこれから勉強することばかりで恐縮しております。それでも、やる気だけはありますので(笑)、組合員皆様の御指導御鞭撻を頂きながら、責務を全うすべく邁進する所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

第3回 組合主催ゴルフコンペ開催

幹事 青年部 鈴木一徳(株) 小池商店

平成19年5月13日(日) 第3回組合主催ゴルフコンペが、青年部幹事のもとで栃木県栃木市のプレジデントカントリークラブにて開催されました。天候も明け方までの曇り空から回復して、絶好のゴルフ日和となりました。

スタートコースである東INコースで総勢24名によるコンペがスタートしました。

優勝は、増田唯之さん、準優勝は藤井康夫さんが入りました。

成績は次の通りです。

- 優勝 増田唯之 (株) 増田商店
- 準優勝 藤井康夫 (株) 藤井
- 3位 工藤裕樹 (株) 工藤商店
- 5位 近藤 勝 美濃紙業(株)
- 7位 鈴木一徳 (株) 小池商店
- 10位 稲生正俊 返本加工組合
- ブービー賞 後藤秀樹 (有) 後藤商店



第46回 清風会ゴルフコンペ開催

幹事 坂田 智

平成19年4月19日(木) 第46回清風会が、浦和ゴルフ倶楽部にて開催されました。前

日からの雨もスタート時には上がり、天候に恵まれました。ただ高山総務部長が道を間違われ3ホール目からの参加になってしまいコンペには参加できなくなったため、14名のスタートで15名のフィニッシュとなりました。

パーティーでは表彰式が行なわれ、優勝は新井勝夫さん、準優勝は増田唯之さんが入りました。

成績は次の通りです。

- 優勝 新井勝夫 (株)新井商店
 - 次回ハンデイ 13
 - 準優勝 増田唯之 (株)増田商店
 - 次回ハンデイ 6
 - 3位 古田敏一 古田産商(株)
 - 次回ハンデイ 16
 - 5位 近藤 勝 美濃紙業(株)
 - 7位 赤松源裕 (株)赤松商店
 - 10位 赤染清康 (株)共益・商会
 - ブービー賞 坂田亮作 (有)坂田亮作商店
- *次回は平成19年秋を予定しています。
*次回幹事 新井勝夫、坂田 智

青年部主催「施設見学会」

吉野石膏株式会社及び

高砂製紙株式会社 視察記

三弘紙業㈱ 持永 毅

去る4月24日、東京都製紙原料協同組合青年部の主催により、総勢17名で吉野石膏株式会社虎ノ門ショールームと高砂製紙株式会社本社工場を視察しました。

◆吉野石膏ショールーム◆

同社は石膏業界最大手であり、天井・壁などに使用する内装ボード 商品名 タイガーボード[®]は、シエア78[°]を誇っています。断熱内装ボードのほかにセルフレベリング材など建築用粉体、一部ソフトクリームの自立性を保つための助剤など、食品部門への商品も揃っています。

原料は主に石膏と紙であり、石膏には天然の石膏と副生石膏（火力発電所などから科学的に副生）、廃せつこう（解体現場などから発生）があり、それぞれを混合して製造しています。また紙も主に古紙を利用しており、リサイクルを意識した製造工程になっていました。

タイガーボードを利用した内装パネルは断熱性だけでなく遮音性も高く、ショールームにはその効果を体験できる実証ルームがあり、その優れた性能を体験しました。



◆高砂製紙本社工場◆

同社は吉野石膏グループであり、同社で製造している製品はほぼ全量吉野石膏社のボード原料用となっています（吉野石膏社のボード原料の70%を担う）。

ボード原料は3層構造となっており、原料には未晒しのパルプと、古紙は裾物のほかに上白や中白、ポリや台紙もある様です。

1981年、新マシンの導入を機に古紙原料の転換などにより徐々に薄い原紙へと移行し、少ない原料で品質を保てるようになったそうです。

われわれ組合員が出荷している荷物が、最終的にビルやマンションの一部になっていると言う実感が持て、大変有意義な視察となりました。



以上

集荷部部长挨拶

集荷部長 宮崎 勝保

坂田集荷部長の後任として、部長の大役をまかされてきました山手支部の宮崎と申します。

ここ数年、価格も低迷し、どん底の時代が続き業界を離れる組合員が多数でございました。しかし、古紙輸出等、直納部の努力による共販活動、中国の経済成長、国内メーカーのDIPマシーン増設による古紙の需要増等により、価格が修正されてきたことは集荷業の私達にとつては嬉しいことです。

しかし、マスコミ等の過剰な報道により、安定した営業ができにくい状態になってきたことも事実であります。更に、産業廃棄物業者等の介入により厳しい状況になってきています。こういう時こそ私達、集荷業者は、ひとつになつて頑張らなくてはいけないと思います。

そこで部員相互の親睦を図り、取引先との意見交換や知識、情報についての研修会を開催したいと思つています。又、年に一度くらい全集荷部員の人達を対象にした意見交換もしていきたいと願つています。

今後とも、皆様のご協力を頂き頑張りたい所存でございます。簡単ですが新任の挨拶とさせていただきます。

支部便り

「荒川支部」 新支部長挨拶

久保田 貞行



四月十四日開催荒川支部第六十回総会におきまして、荒川支

部長を受けさせて頂くことになりました。歴史ある荒川支部の歴史は六十年にもなると諸先輩方よりお聞きしており、重責を感じざるを得ません。

組合活動については分からない所が多々ありますが、皆様方に色々教えて頂きながら勉強していきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

又この数年間の業界を取り巻く様々な環境は、私が初めて仕事に従事した三十年位前とは比較にならない程変革が求められている現状です。

組合からも新しい情報を頂き、支部会員の皆様にご報告できればと思っております。

皆様のご指導、ご鞭撻をお願い致し、ご挨拶とさせていただきます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

組合員の広場

懐かしき思い出

理事 坂田 秀一郎

昭和26〜27年頃か、当時は子供が親の手伝いをするのは当たり前だった。家計は苦しく毎日を懸命に生きた。親父と従業員が自転車の後方のリヤカーに切付を八ッ手で6本、これ以上は無理である。昭和26年、私は11歳。そのリヤカーを側面から押して製本屋から引き上げてくる。終戦後の混乱した時代、縁台将棋ブームが巻き起こり、雑誌である「将棋世界」が飛ぶように売れた。

又、現在は、FAX、ワープロが主流の時代だが、戦前戦後、図面や設計図は青写真というもので、青焼きと言ひ、これを商売にするお店が都内に沢山あった。当時は、屑の価格は今よりも非常に値打ちがあった。青写真屋さんも地下室や縁の下へ詰め込んで沢山貯めて、我々原料屋へ売るのが。唯、この青写真の難点は軽いこと、ガサガサで軽く、大袋へ懸命に詰め込んでも、標準は30キロ、8貫目位、60キロも詰めれば大変なもの！子供は、頭も小さいし身体も小さいので縁の下へ潜り込むんで、青写真の機械の一部の鉄棒を借りて引っ掻き出すのを得意といた。

その当時、中央区月島に「明青社」と言うお店があった。今は日曜という日休みだが、その

頃は、日曜というと青焼きの引取りをしていた。休みは殆んど無かったのである。ある日曜日に父親と私でオート三輪に乗って銀座を過ぎてびつくり隅田川にかかる勝どき橋が開いてしまっている。遠くに大型貨物船の姿が見える。アア、あれが橋を通り過ぎる迄、月島方面には行かない。開門した時は、泥や砂が降る、目を開けていられないのだ。子供だから興味があり、そのすぐそばに走り寄って行った。橋から落ちてくる土砂は竹筒で手際よく掃く人がいるのだった。約1時間は札止め、のんきな時代だ！向こう側行こうも行かない。残念！待つしかなかった。因みに、勝どき橋の開閉モーターは250馬力。馬250頭が引き上げる力だからすごい。勝どき橋のライトアップ費用も年間200万円位かかるそうである。昭和の戦後、日本の復興期の懐かしい思い出である。

お知らせ

〔6月会議・催事予定〕

6月4日(月) 理事会 (pm4:00)

組合会議室

6月13日(水) 集直正副委員長・支部長会議

(pm4:00) 組合会議室

6月14日(木) 古紙センター評議員会

(pm1:00) 業務委員会

(pm3:00) 銀座ラフイナート

6月14日(木) 全原連役員会 (pm4:00)

銀座ラフイナート

6月18日(月) 古紙センター関東地区委員会

(pm3:45) 古紙センター会議室

6月21日(木) 直納部委員会

(pm4:00) 組合会議室

6月21日(木) 上野中金会総会 (pm4:00)

0) 講演会 (pm4:30) 懇親会 (pm6:10)

10) 東天紅上野店

6月25日(月) 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会

事前会議 (pm1:00) 本会議 (pm2:00)

富士工業技術支援センター会議室

代表者変更

〔城北支部〕

太田紙興株式会社

(新) 代表取締役社長 太田 耕治

*前社長、逝去のため

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4紙の標準売値〕
平成19年5月8日現在

*新聞 9〜10円 (横這い)

*雑誌 5〜6円 (横這い)

段ボール 7〜8円 (上昇)

色上(並) 5〜6円 (横這い)

〔古紙品質調査事業〕平成19年4月〜6月価格

〔新聞 古紙〕 14,000 円/トン

〔段ボール 古紙〕 10,750円/トン

〔組合員脱退〕(平成19年3月末脱退)

〔荒川支部〕

(株) 汲田商店 (代表者 汲田憲一殿)

廃業のため

〔荒川支部〕

(有) 斎民商店 (代表者 斎藤 宏彰殿)

廃業のため

〔荒川支部〕

小林紙原 (株) (代表者 小林 甲殿)

廃業のため

〔荒川支部〕

(有) 高橋勝司商店 (代表者 高橋 昇殿)

一身上の都合

〔足立支部〕

(株) 斉藤商店 (代表者 斉藤 勝殿)

廃業のため

〔足立支部〕

(株) 北川 商店 (代表者 北川 光治殿)

本業からの撤退

〔足立支部〕

(有) 山本勇一商店 (代表者 山本 勇二殿)

廃業のため

〔山手支部〕

(有) 梅村商店 (代表者 梅村 勉殿)

廃業のため

〔城南支部〕

(株) 舟戸商店 (代表者 舟戸 一郎殿)

廃業のため

〔江墨支部〕

島田 商店 (代表者 島田 正一)

代表者逝去

〔城北支部〕

向山 商店 (代表者 向山 啓良殿)

業務縮小のため

訃報

*文京支部 (有) オオシバ

(代表者 大柴 和男様) のご尊父

大柴 林助 様 (享年90)

平成19年3月18日逝去

*荒川支部 (有) 国府田商店

(代表者 国府田 敬市様) のご母堂

国府田スミ子 様 (享年84)

平成19年4月26日逝去

*台東支部 山仁紙業(株)

(代表者 近藤 慶四郎様) のご母堂

近藤ますよ 様 (享年96)

平成19年4月27日逝去

会議概要〔3月4日5日〕

3月度定例理事会

出席理事 20名 於 組合会議室
p m 4 : 0 0 ~

皆川理事長挨拶

役員会の出席が少なくなると議決等で問題が生じるので、お忙しい中ご苦勞ではありますが少しでも多く出席をいただけるよう今後ともお願いをいたします。先日、静岡県紙業協会家庭紙部会に出席しましたが、古紙が流動化を高めており価格問題も含めて組合の役員が、この問題でもっと盛り上がりたてた方がいいのではないかと思います。

〔各部報告〕

〔総務部〕

第51回通常総会を総務部の担当で5月17日に行いますので皆様のご協力をお願い致します。同日、第45回永年勤続従業員表彰を行うので多数の表彰者を推薦していただくようお願い致します。

〔直納部〕

2月26日に静岡県紙業協会家庭紙部会との三団体懇談会に参加をしました。それに向け16日に集・直正副委員長会議、23日に直納部共販合同委員長会議を開催し、市況交換をさせていただきました。三団体懇談会には静岡県紙業協会家庭紙部会25名内、家庭紙メーカー21名、

静岡県製紙原料商業組合9名、東京都製紙原料協同組合9名の参加があり非常に熱の入った会議となった。内容については後程、赤染副委員長から報告してもらう。

直納部共販合同委員長会議では、新たな販売先の候補として(株)Jを紹介した。

市況ですが、国内価格と輸出価格の差が広がる一方で、1月の輸出量も34万9千トンと前年にくらべ14.1%と大幅に増えた。3月の関東商組の共販輸出価格について、段ボールのメイソンが店頭で16円51銭、新聞は18円80銭、雑誌は15円81銭で三品とも国内より5円ほど高い価格となっている。国内メーカーも今後価格対応をしていかないと原料が入ってこない状況になってくるのではないかと思われる。色々な品種で不足感が高まってきている。

〔品種別市況報告〕

〔上白・特中白〕 パルプ、チップについては非常に高い価格で推移している。新聞を始めとするDIP関係の古紙が非常に不足している。

上白、特中白とも、非常に発生が少ないが需要が高まってきている。古紙全品種が不足してきているように思われる。

〔家庭紙原料・切付〕 静岡県紙業協会家庭紙部会との三団体懇談会について、皆川理事長より決済条件の改善についてお願い、近藤副理事長から古紙全般について市況報告があった。

家庭紙原料については、森山委員長からDIPの需要が今年は旺盛になる点と、輸出について中国の白板の需要、中国の大手メーカーの日本

進出についての話があった。メーカー側では、古紙価格が今後どうなるのかの質問や製品価格の値上げについての話があった。

全体的にメーカー側が強い危機感を持っているのが意見の中から感じられた。

切付も洋紙メーカーがDIPの関係で古紙不足ということ、特更メーカーに入っている切付を洋紙メーカーが引つ張る状況になってきている。

〔段ボール〕 このところ輸出価格が大分上がってきている。中国の大手商社による日本進出の影響もあり今後、段ボール古紙が伸びると聞いている。アメリカのOCCも上がり、連動して価格も上がってきていると思われる。仕入価格については国内のメーカーは、まったく動きがなく価格差が出ている状況である。このままの状態が続くと、今後、段ボール原紙の生産が追いつかなくなるのではないかと思われる。暖冬の影響もあり仕入価格が輸出価格に連動した価格が出てきている。

〔新聞・雑誌〕 新聞はDIPの増設の影響で非常に引き強い。価格は、輸出価格と比べ4円以上の差があり、奪い合いの仕入競争となってきた状況である。価格が高くなってきたので、業者による抜取りが増えてきていると聞いている。そのため行政回収による新聞の量が減ってきているのではないか。雑誌も輸出価格が国内よりも4円以上の開きがある。2月は需給は切迫した状況にあると思われる。

〔オフイス古紙〕 発生は、このところ増え

てきている。雑誌の輸出価格が上がってきているので、その分家庭紙メーカーへいく量が減ってくるのではないかと思われる。

「集荷部」 集荷については、価格修正をあまりがたく受け止めている。やつと商売として成り立つ状況になってきたように思われる。ただ、一部、過当競争や過剰サービス、お客様への還元で価格差が充分、役立つていない面もあるのではないかと思われる。

価格が上がっても発生が少ないので、収入面で以前と比べて同じような状況である。

「広報部」 3月号の広報発行に向け原稿を集めている状況である。記事になる話題が少ない時期なので、工夫をして各自へ原稿の依頼をしている。3月中旬に送付したい。それと、総会に関する資料の一部を広報部として作成している。

「青年部」 組合ゴルフコンペの幹事をしているので準備中である。5月13日(日)プレジデントカントリークラブで行う予定である。

「その他」
今期で脱退する組合員の説明と確認を該当支部ごとに行う。

古紙センター

業務委員会

PM2時〜於 古紙再生促進センター

「1」 平成18年度第3回評議委員会、第40回通常理事会の報告

「2」 全国古紙の需給・市況動向
紙面の都合により、詳細数字は割愛させていただきます。

全原連役員会

平成19年3月12日(月) PM3時〜於
古紙再生促進センター
理事・監事56名・出席44名(内、委任出席17名) 欠席12名

(1) 古紙再生促進センター関係
①業務委員会(1月25日・3月12日開催)
*古紙販売呼称単位「トン」への表示変更の件(新聞報道等対外的)

*平成19年4月〜9月 段ボール・新聞・雑誌の消費計画について
・段ボール 4月〜6月 前年比 102.1%

7月〜9月 " 102.1%

4月〜9月 " 102.8%

4月〜6月 前年比 102.4%

7月〜9月 " 105.9%

4月〜9月 " 104.8%

1%
4月〜9月 " 96.6%
②紙リサイクル関連団体表彰申請要望(全原連30周年に対し要望)
③評議委員会(3月2日開催)
*平成19年度事業計画
・古紙品質安定対策事業・広報宣伝事業・調査研究事業・債務保証事業・その他事業
・賛助会費変更(現行10円から6円に変更)
・融通事業3月末で終了、新規事業として品質調査事業4月より開始(関東地区)
(2) 正副理事長会(2月6日開催)
①古紙内外価格差是正対応に関し、日本製紙連合会へ要請文書提出の件
・提出先:各地区委員長及び地区委員会参加製紙メーカー宛
・差出人:理事長他各傘下組合理事長名の連名とする。
(3) 総務財務委員会(2月22日開催)
①1月までの経理、財務内容状況順調に推移。
②新年会(1月25日浅草ビューホテル)収支報告。
③静岡県製紙原料商業組合・理事長 全原連・副理事長 鈴木清久氏(旭商事株) 辞任。後任に佐藤常明氏(松岡紙業株) 静岡県製紙原料商業組合・理事長 全原連・副理事長 就任承認(平成19年4月1日付、任期は前任者残任期間、平成20年通常総会時まで)。
(4) 近代化推進事業関係
①総合運営委員会(2月6日開催)

*平成19年度事業計画書(案) 上程承認。
 ②各委員会事業計画(案) 上程承認(平成19年・20年度継続・新規事業)。
 ③各委員会報告

●経営革新委員会

*「古紙商品化適格事業所認証制度」登録取得費用(案) 継続審議。
 *「古紙リサイクルアドバイザー認定制度」登録取得費用(案) 継続審議。

●需給委員会

*経統事業
 (1)国内外需給の現状把握と分析・予測、(2)集荷対策の研究

*新規事業

(1) 国内外マーケットの掌握・分析
 (2) 販売取引呼称単位「トン」表示(平成19年4月1日実施)
 (3) 上物古紙利用向上研究(自動選別機の研究)及び新規市場開拓の検討

●IT推進委員会

*経統事業
 (1) コンピュータ化の推進(共通ソフトの普及改善)
 (2) HPの充実・グループウェアの充実検討、ネット事業の推進

●渉外広報委員会

(1) 無人化計量(自動計量) システムの研究
 *ロゴマーク商標登録・全原連30周年冊子作成・全原連リーフレット作成

(5) 第30回通常総会及び30周年記念式典について(当番地区関東商組)
 開催日:平成19年5月25日(金)
 場所:ヒルトン東京ベイ(千葉県浦安市)

内容:近代化推進事業各委員会
 12:00~13:00
 講演会

Aの間
 13:30~14:30(クリスタル
 総会)

15:00~16:30
 30周年記念式典

Bの間
 17:00~18:00(区リスタル
 懇親会)

18:00~20:00
 (6) 30周年記念式典・第30回通常総会経費予算(案) 上程承認。

(7) その他(資料)
 *日本製紙連合会:資源有効利用促進法における製紙業界の取組み
 *古紙輸出統計・各地区月末在庫証明書・年間スケジュール予定表

古紙センター
 関東地区委員会(平成19年3月22日(木))

PM2時 於 古紙センター会議室

〔需要動向〕 07/1月 単位トン、()は対前年同月比、在庫の()は在庫率
 〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入 84、127(101.1%)
 出荷 85、133(102.5%)
 在庫 8、309(9.8%)

〔雑誌〕

仕入 55、519(106.3%)
 出荷 55、742(104.4%)
 在庫 6、605(11.8%)

〔段階別〕

仕入 117、661(103.0%)
 出荷 118、037(101.2%)
 在庫 10、917(9.2%)

〔関東・静岡実績〕

入荷 234、514(105.5%)
 消費 242、514(105.5%)
 在庫 151、120(62.3%)

〔雑誌〕

入荷 112、592(102.0%)
 消費 114、750(96.2%)
 在庫 71、886(62.6%)

〔段階別〕

入荷 251、166(97.0%)
 消費 262、802(99.6%)
 在庫 93、980(35.8%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 新聞は、回収量は増えている

が在庫は変わらない状況である。発生状況は、32社で101%。暖冬の影響もあり回収量は順調にすすんでいる。

雑誌は、32社で106%と好調に推移している。2月から新刊が出ているが、それが回収にどう影響するのか。雑誌は、2月3月4月が新刊の月になるので賑やかになるのではないかと、中とじの週刊誌の売れ行きが悪いのが気になる。

「段ボール」 32社の在庫ポジションはいい。輸出は1月、15万6千トンで12月より多かつた。2月に中国の正月休みがあつたが2月3月は引き合いが衰えずにきている。4月5月6月はメーカーの買いが104・6%という過去に数字がでている。3月に海外大手商社N社が東京に事務所を置く。これから生産が上がってきて本格的に段ボールの注文が多くなるのではないかと思われる。4月以降は大変な状況になるのではないかと思われる。

「メーカー側コメント」 段ボールは、暖冬の影響で冬物は調子が悪かつたが、春物は調子が良かった。生産は、2月は横這いと聞いている。段原紙は、昨年2月3月値上げの関係で動きは良かった。今年は基本的には横這いのものである。各会社（工場）の状況は、2月は若干の在庫増。3月入荷は消費に見合うものを確保するには苦しい状況のようである。

新聞の2月の入荷は各社とも低調であつた。5%の在庫を落としたかたちになっている。3月は若干の輸出価格の1服感があるように感じ

られる。

古紙センター

静岡地区委員会

平成19年3月23日（金） 11時30分
フジロイヤルプラザホテル

出席者：メーカー8名・業者18名・事務局3名

「堀内委員長の挨拶から」

メーカーからの状況を少しお話しておく。原油価格が高止まりしている。これに伴い、ナフサが高騰し、紙力増強剤として最も使われているプロピレンが値上がりしてコストアップにつながっている。原料も、古紙の輸出価格の高騰でメーカーへの納入が厳しくなっている。一方で、製品値上も当然考えた中で作業している。かなければならないが、昨年4月に原紙を5円あげた。原紙の値上がりはしたことはしたのだが、段メーカーのほうはシート・ケースの値上げを一昨年から行ってきたが、現状は道半ばというところにとどまっている。さらに原紙値上という追い討ちをかけることはできない、というのが板紙各社の考えで、今年は非常に厳しい状況になるかと思う。

「市況動向」

「第一部会」 上物古紙

産業古紙は1・2月とも非発生で、入荷は低調に推移した。3月に入り若干発生が増え、入

荷も除々に増えてきている。家庭紙メーカーは信用問題もあり、潤沢に入っているところとそうでないところと二極化されている。

「上白」 発生が少ない中、輸入パルプの高止まりで、代替としての引き合いが多く、タイトな状況に変わっていない。

「特中白」 一時の逼迫感はなくなったが、まだ若干タイトな状況である。

「家庭紙ケント」 3月に入って徐々に発生してきているが、メーカーにより入荷にバラツキがある。2月に製品値上げがあつたが、それは通つてなくて、4月以降の値上げを見込んでいくように。そのため製品の出荷は順調にいくように。

「洋紙板紙色上」 大手洋紙メーカーの消費増は変わりなく、タイトな状況は通続している。それによって必要量確保のためプレミア対応を個別に働きかけている状況に変わりはない。

「板紙ケント」 2月1日に2円の価格修正があつた。上物古紙の相次ぐ値上げにより、品質格差を前提にした価格差が縮小、また選別メリット減少により、値上げしなければならぬ状況になってきている。県内の状況は今年に入って月を追うごとに板紙の減産が多くなり年明けの逼迫感から一転して、今はバランスのとれている状況である。しかし、現状は板紙の減産及び若干の発生増によりバランスがとれているのであつて、メーカーの生産が戻れば、再びタイトになるであろう。

「切付」 3月に入り多少発生が増え、落ち着

いた状況にあるが、タイト感拭えない。上白は発生が少なく、国内で使うよりも輸出に回るものが多く、タイトである。

特中白は、パルプ高騰の影響もあり上白と同じような動きになっている。

家庭紙は地元メーカーで1社信用不安が出ており、その影響か、輸出の雑誌価格が色上を上回っているのでタイトになっている。

洋紙ケントは、発生が少なくタイトな状況にある。

色上も依然としてタイトであり価格について業者も苦労している。

切付はそれほど発生が増えていくわけではない。メーカーの操業日数からいってそこそこの使い方になっている。しかし全体的には不足している。

「第二部会 新聞・雑誌」

「新聞」 新聞の1月度の通関実績は約86、000tで前年比で91%。中国向けは約37、000tで前月比14、000tの減少となっている。輸出価格は1月17・06円、2月19・10円となっていて、3月にはいって少し落ち着いてきた感があるが依然高値で推移している。高値の中で、輸血量が増加しなかったのは、なぜかと思う。各社のプレミアム対応の影響があるかと思う。静岡地区は1・2月と入荷が非常に悪かったが、3月に入り多少戻ってきている。

「雑誌」 雑誌の1月度の通関実績は、約86、000tで前年同月比で170%。中国向けは

約83、000tで前年比14、000tの減少となっている。輸出価格は1月14・41円、2月15・62円と高騰が続いている。3月度の中部商組の輸出価格は16・50円と非常な高値がでており、4月以降もこれが続くのではないかと予想している。雑誌も1・2月と動きが悪くて、各メーカーは在庫の切り崩しとか配合変更で対応している。3月に入り、少し回復してきてはいるが、まだ在庫積み増しとまではいいていない。

「業者側コメント」 新聞は、関東商組32社の集計で2月の実績は、入荷が前年比101%、出荷が102%となっている。在庫率9・8%と、1月よりさらに減っている。輸出価格18・80円、建値が183\$（為替は120円）。これが180円を若干下回るころにある。為替も117円台となっている。

雑誌の2月の入荷は106%、出荷104%、在庫は11・8%であった。新聞の在庫率が落ちてくるのに反し、雑誌では1月比で高くなっている。本来、3月中旬までは発生が少ない時期ではあるが、今年には暖冬の影響もあるのか発生がますます順調である。

輸出価格は3月は建値164\$為替が117・50円であるが、現状建値が160\$を多少下回る。内外格差があまりにも大きくなっていて、仕入面で弊害が出ているので、輸出価格が下がった方が業者としてやり易いということも感じている。メーカーの在庫率は1月末で新聞は前年とほぼ同じ、雑誌は9%位高くなっている。

これは消費量、輸出価格差の問題があるのではないか。

「第三部会 段ボール」

2月の入荷は各社とも低調であった。中国の旧正月の影響に期待したのだが、入荷増とはならなかった。発注に対して、未納に終わっている。在庫は、操短等で約8000tの増となっている。3月に入っても引き続き状況は良くない。各社、程度の差はあるが、減産で対応している。原紙の需要は、製紙連合会の数字であるが、2月の生産は前年対比98・1%、出荷は97・2%と不調であった。在庫はほぼ横這いである。3月は少し荷も動き出し、前年と同じような数字になるものと思われる。

「業者側コメント」

段ボールは1・2月の悪い発生状況が3月に入っても続き、冬の戻りもあり中旬までのところ目立った動きは無い。ただ、3月全体の数字は、昨年のデータでも、関東・中部・近畿の都市部では2月対比で10%の発生量増。その他の地域では20%程度の増となっているので、今月も残り10日弱であるが、春休みに入ったし、引越し等の季節的要因もあり、ある程度の発生増が見込めるのではないか。国内の需要バランスは1〜3月の段原紙の不要期による生産調整もだいぶされたようである。落ち着いた状況であったと思われる。ただ2月〜3月にかけても輸出価格が急上昇し、内外格差が大きく開いて、輸出への大きな玉の流れ、価格へも一部影響が出ている状況にある。

3月度の輸出価格は、関東商組で16・51円で、雑誌の15・81円を70銭ほど上回った。昨年12月の関東商組の輸出価格が12・30円であったから、今年に入って4・20円ほど値上がりになったが、この状況も、短期的に状況がだいぶ大きく変わるような現象がここへきて見られている。

4月のオフアはまだ正式には出ていないようだが、アメリカの市況にやや緩みがでてきているということで、ドル建てでも若干の値下げ基調か、高値調整が行われるのではないかと、いう動きのようである。価格は横這いか若干高値の調整が行われるのではないかと、言う見方が出ている。4・5月の市況は短・中期的に、連休等も控えていて、いろいろな要素があるので、わかりにくい状況がしばらく続くものと思われる。

(事務局連絡・他)

*静岡の原料組合の鈴木理事長が退任し4月1日から松岡紙業の佐藤社長に代わる。

それに伴い、関東地区の委員が引き揚げる。時期は6月で6月20日までは現在のメンバーで行う。

支部長会議 [平成19年3月26日(月)]

出席委員20名(於) 組合会議室 pm4:00

1. 次期役員(19年度)の推薦について

城北支部は、4月7日に総会があり会議をす

る予定。支部長は、その際に決める。
2. 組合員脱退及び賦課金ランク変更者の報告及び確認

3月26日現在で組合員脱退者11名 [本日1名追加含む: 荒川支部小林紙原(株)]
ランク変更者はなし。

3. 第45回永年勤続従業員表彰の対象者推薦について
現在、数名きているが引き続き4月9日まで提出してもらおうと呼びかける。

4. 各支部からの報告
支部会・総会等の今後のスケジュールを中心に、各支部ごとに報告があった。

4月度定例理事会 [平成19年4月3日(木)]

出席理事 21名 (於) 組合会議室 pm4:00

皆川理事長挨拶
来月は、総会があります。本日は、総会にむけて、いくつかの議題がありますのでスムーズに総会が運ぶよう皆様のご協力をいただきたいと思っております。

【各部報告】
【総務部】
第51回通常総会を総務部の担当で5月17日に行います。当日は、理事は2時に集合し、2時30分から役員会を開きます。当日までに来

賓のリストができあがるので、理事は来賓者に対しての案内をよろしく願います。同日、第45回永年勤続従業員表彰を行うので各支部より多数の表彰者を推薦していただくようお願い致します。

【直納部】

共販委員会を4月17日に開催いたします。中国の市況等を、松本光春商店様より報告していただく予定です。

4月1日より古紙販売呼称単位を「トン」への表示変更となりました。

市況ですが、全般的に古紙の輸出価格の内外格差がここ数ヶ月大問題となっております。今月から国内の段ボール古紙が価格修正となっております。2月の輸出につきましては、292、

413トンと前年同月比で92・1%と減少しました。特に新聞につきましては60・5%で大幅に国内メーカーへ戻ったというかたちになっていきます。関東商組の4月の共販輸出価格は、段ボールの中国向けがトン当り15、500円、タイ向けが 15、100円。新聞は中国向けで、15、500円、雑誌は中国むけで14、160円。三品とも3月から比べると1、000円から2、000円くらい値下がりをしていきます。(段ボールが1、010円・新聞2、300円・雑誌1、650円の下げ)

【品種別市況報告】

「上白・特中白」 上白は引き続き発生は少ない。輸入パルプは高止まりで相変わらずタイト感が強く、引き合いが活発で強含み。

〔家庭紙原料・切付〕 家庭紙は3月～4月は発生期なので何とか回している状況である。製紙メーカーで3月に倒産した会社が2件あり、かなりこれから厳しい状況になっていくのではないかと思われる。中国の大手商社が東京・大阪に進出してきたと聞いている。このところ輸出価格が下がっているが中国の労働節が終わった頃に動きがあるのではないかと思っている。

切付は変化なし。
〔段ボール〕 発生は今ひとつで、スーパー関係が悪い。中国大手商社Nの引き合いが強くなってきている。価格は大分下がってきて調整とされてきたように思われる。在庫はまったくない状況。5月の連休をひかえ生産はダウンし調整局面に入っているのではないか。

〔新聞・雑誌〕 新聞は、4月～6月の国内需要が2・9%伸びるのではないかと予想されている。国内のメーカーの引き合いが強く、輸出が少なくなってきたのが要因ではないか。価格差による国内外の引き合いが強く、DIPの稼働により国内での引き合いが、特に強くなっていくのではないかと思われる。今後、価格に対してどう対応していくかが、国内メーカーの課題となっていくのではないか。業者としては仕入価格が高く厳しい状況である。

雑誌は、国内の需要は多少減っている傾向である。ただ、在庫は、1割あるかないかの状況なので需給の切迫感は続いていると思われる。

〔オフィス古紙〕 発生は、3月～4月は非常

に多くなっている。機密関係は板紙、家庭紙へ入っているのではないか。

〔返本雑誌〕 2月に出版物の販売額が出て前年対比で5・2%減と販売が落ち込んだ。内訳は書籍が5・6%、雑誌が4・9%落ち込んでいる。出版業界は右肩下がりの状態が続いている。3月の発生は前年どおりで価格の変化はない。

〔集荷部〕 四月に入り、古紙の発生は、選挙もあり増えています。年度変わりと言うことで印刷関係の仕事は増えているようです。集荷業の方々の自らの競争は依然、厳しく、利潤の確保は相当大変だと思います。しかし、折角、価格修正されつつあるのであれば、各社の体力温存に繋げていけたらいいと思っています。何しろ毎年、集直を問わず廃業者が続出することは絶対に回避しなければなりません。

先月の臨時常任委員会で集荷部の部長は、宮崎勝保氏、副部長は石橋駒雄氏との発表があった。又、各支部から2名以上の集荷部委員の選出をお願いしました。

集荷部は、このところ1月～3月期の古紙発生減の影響から価格の一部修正はありましたけれど、まだまだ低価格の状況から脱却出来ず、後継者問題もからみ採算的には程遠く、厳しい状況となっている。このままの状況が長く続いていけば廃業者が、今後も続出するのではないかと懸念している。古紙価格の国内外の価格差が非常に大きく、今後は国内メーカーに対しても強くアピールして相場に近い取引価格にするよ

う切望します。

〔広報部〕 5月号の広報は総会の内容を掲載する。発行に向け原稿や記事になる話題について4月11日に検討する。それと、総会に関する資料の一部を広報部として作成している。

〔青年部〕 4月24日に青年部主催による「施設見学会」を予定している。見学場所は、吉野石膏と高砂紙業で参加は、青年部主催ですが組合員全員が参加が可能である。

5月13日(日)プレジデントカントリークラブで組合ゴルフコンペを行う予定である。青年部が幹事ですが、参加は、組合員全員が参加できます。

〔その他〕 組合員脱退が今期11名。賦課金ランク変更が2名(C↓A・B↓A)

〔共販委員会〕 平成19年4月17日(火)

出席委員13名 於 組合会議室 pm4:00
皆川理事長挨拶

古紙市況が流動的であり、そんな中で組合の輸出事業が、継続的に続けていけるよう皆様のご意見を伺いたいので、宜しく願います。

1. 共販輸出価格について

共販輸出の現況

参加業者： 9社中、7～8社

輸 出 量： 約80トン～90トン

2. 市況について
輸出価格については全般的には下がってきて

いるが、韓国向けのケントは現状では横這いとなつてゐる。新聞はそれほど大きな動きはないが、段ボール、雑誌は大きく下がつてゐる。連休明けに反発してくるのではないかとの見方である。家庭紙原料は3月〜4月は落ち着いてきている。

古紙センター

関東地区委員会 〔平成19年4月20日（金）〕

PM2時 於 古紙センター会議室
 〔需要動向〕 07/3月 単位トン、（）は対前年同月比、在庫の（）は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新 聞〕

仕入 94、262 (98.31%)
 出荷 94、024 (99.5%)
 在庫 8、547 (9.1%)

〔雑 誌〕

仕入 68、065 (99.9%)
 出荷 65、241 (99.9%)
 在庫 94、29 (14.5%)

〔段ボール〕

仕入 135、132 (98.6%)
 出荷 135、043 (99.6%)
 在庫 11、006 (8.1%)

〔関東・静岡実績〕

〔新 聞〕

入荷 264、317 (102.9%)
 消費 264、223 (103.9%)

在庫 151、214 (57.2%)

〔雑 誌〕

入荷 123、299 (88.8%)
 消費 127、870 (101.5%)
 在庫 67、315 (52.6%)

〔段ボール〕

入荷 300、894 (101.2%)
 消費 302、979 (96.1%)
 在庫 91、895 (30.3%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 新聞は、4月の発生量は、天候の影響を別とすれば前年並みと思われる。3月の32社の回収量は、2月の新聞ページ数が前年比90%。10%減は、前年が冬季五輪の影響でページ数が多かった。中国の新聞古紙需給は白板製品価格の軟調を受けて当面、価格的に強くなることはない。内外格差の縮小により国内メーカーへの入荷は引き続き順調に推移すると思われる。

雑誌は、3〜4月の回収は、発生期を迎えたが例年と差の無い回収量で推移している。雑誌の発行部数も底を打っており、これ以上悪くなる要因はない。返本雑誌の量は高水準で年間60万トン位で推移すると思われる。仕入価格の上昇が雑誌回収にどのように影響するか関心もたれます。

〔段ボール〕 3月は前年比割れで98.6%。

32社以外のところが輸出との格差があり、他のところへ流れたのではないかと思われる。3社のシェアが内外格差の影響で弱まった。在

庫は、昨年より1%少ない8.1%で全然ない状況である。段ボール古紙は、中国バイヤーは模様眺めで労働節明けが仕切り直しではないか。5月の輸出価格は最近にない最低の輸出価格の予想が出るのではないかと思われる。段ボールに関しては、完全に内外格差が縮まったようなので、在庫の確保をメーカーさんにとつてもらいたい。

〔メーカー側コメント〕 新聞の1〜2月回収は102%で16,000トンだった。2月末在庫85%で3月は消費より入荷が上回った。輸出は、これから停滞ムードなる傾向が見える。段ボールは、3月は入荷が良くない状況が続く。2月3月は在庫が減り、4月は入荷がパツとしない。

輸出力の減少、5月のGW中に在庫を調べておきたいという会社がほとんどである。段ボールの伸びは、1月100.5%、2月100.1%、3月100%を割るのではないか。段原紙の海外需要は前年比93%台、昨年は107%。価格変更が製品の方へどう出て行くのか段ボール原紙メーカーや段ボール関係の関心事になつてゐる。

業務部正副委員長会議

〔平成19年4月20日（金）〕

出席委員11名 於 組合会議室 pm4:00

1. 新規事業について

ISOコンサルティングオフィス神田さんより新規事業「労働時間等設定改善推進助成金制度」について説明を受ける。以前、組合で実施した長期休暇基礎整備事業に似た助成金の制度であり、当組合で実施するよう理事会ではかることとなった。

2. 業務部各部分からの報告

直納部 4月17日に共販委員会を開催し、4月～6月の共販価格を50銭上げの調整とした。

集荷部 集荷新部長が宮崎部長、副に石橋副部長と松井新副部長が就任となった

広報部 5月の広報発行に向けて記事等を製作中。

青年部 4月24日に青年部主催で施設見学会開催、5月13日に青年部幹事で組合ゴルフコンペを行う。

3. 第51回通常総会について

来賓者の確認 納土社会保険労務士を追加各担当の確認をした。

第45回永年勤続従業員表彰の確認 〇年(11名) 10年(4名) 15年(3名) 20年(6名)の計24名 4/20現在の人数で表彰者代表を(株)富澤にお願いする。

4. 来期業務部長の確認

総務部 高山部長 「有」 北信紙業
直納部 赤染部長 「株」 共益・商云
集荷部 宮崎部長 「有」 宮崎商店
事業部 坂田智部長 「坂田亮作商店」
広報部 清水部長 「ロジテック(株)」

青年部 工藤部長 「株」 工藤商店

紙センター

業務委員会 [平成19年4月26日(月)]

pm1:30 於 古紙再生促進センター

[1] 古紙需要07年3月

紙面の都合により、詳細数字は割愛させていただきます。

[2] 紙リサイクル団体表彰状交付(全国製紙原料商工組合連合会)について

全原連役員会 [平成19年4月26日(木)]

pm2:30 於 古紙再生促進センター会議室

1. 報告事項

- ① 総務財務委員会(4月25日開催)
- ② 正副理事長会議(4月23日開催)
- ③ 経済産業省懇談会(4月23日開催)
- ④ 古紙再生促進センター関係(4月26日開催)

2. 審議事項

① 古紙商品化適格事業所認定制度及び古紙リサイクルアドバイザー認定制度の取得費用についての承認の件: 以下で承認 古紙商品化適格事業所認定制度: 認定料金 1事業所 10,000円(諸経費込)

リサイクルアドバイザー認定制度: 認定料金 1名 3,000円(諸経費込)

「総会関係審議事項」

① 第30回通常総会議案上程を審議

② 平成18年度決算案及び平成19年度事業計画案・予算案について通常上告を審議 承認

③ 平成19年度役員・監事補欠選挙承認の件 通常総会上告を審議 承認

④ 平成20年度役員改選期の伴う選挙方法及び選挙委員選任案承認の件 通常総会上程を審議 承認

1. 選挙方法案の審議(定款23条4項による指名推薦方法を提案)

2. 選挙委員案の承認(内規により提案) 選挙委員の名簿・選挙委員長指名

⑤ 第30回通常総会式次第

3. 30周年記念式典行事について

4. 近代化推進委員会 各委員会報告事項

① 経営革新委員会 ② 需給委員会

③ IT推進委員会 ④ 渉外広報委員会

5月定例理事会 [平成19年5月1日(火)]

出席理事21名 於 組合会議室 pm4:00

皆川理事長挨拶

本日は、総会にむけて最後の調整の会議をすずめて行きたいと思っております。各支部より一人でも多く参加されるよう皆様のご協力をいただきましたと思いますのでよろしくお願いいたします。

「各部報告」

「総務部」

第51回通常総会を総務部の担当で5月17日に行います。今回は、役員改選があるので理事の皆さんは、できるだけ総会に参加してほしい。同日、第45回永年勤続従業員表彰を行います。現在、30名が表彰対象の予定ですのでよろしくお願い致します。

〔直納部〕

6月の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会に向け6月13日に集直正副委員長・支部長会議、6月20日に直納部と新しいメンバーで会議を開く予定です。次期、直納部の部長に赤染理事、副部長に上田さん（三弘紙業）と小林さん（富澤）を予定している。

市況ですが、引き続き全般的に強い状況に変わっていないが、輸出価格が先月、今月と調整に入ってきている。国内の大手メーカーも連休対策で在庫が少し増えたのではないかと。関東商組の輸出価格も若干変わるのではないかと思われる。ただ、長期的には反発してくるのではないかとと思われる。

〔品種別市況報告〕

〔上白・特中白〕 上白は、発生が非常に少ない中、パルプ高の影響で一部メーカーで引きが強い状況である。特中白は、発生が少ないがバランスがとれていると思われる。

〔家庭紙原料・切付〕 3月後半から4月にかけて産業古紙、込頁、ミックスの発生がかなりあり、製紙メーカーへ入ったと聞いている。メーカーの買いは、一時よりは減退しているようである。込頁、ミックスは4月から5月中旬に

かけて中国労働節の関係もあり海外へは出にくいと思われる。但し、夏から秋にかけて原料の需要はまったく逆方向に向いて行き、より一層のタイト感が広がっていくのではないかと考えられる。

切付は夏から秋にかけて大手製紙メーカーが買入に入るので先行きは心配いらぬのではないかと。

〔段ボール〕 3月は、内外格差で3円以上ひらきがあり、国内のダンボール古紙が足りない状況となつていようである。4月に入り2円上がり内外格差が多少狭まる。ただ為替の影響もありなかなか格差が縮まらないのが現状である。製品価格は、1年かけて値上げが浸透してきた。今後、メーカーからの引き合いが強くなるのではないかとと思われる。

〔新聞・雑誌〕 新聞は、輸出の価格が下がってきているが国内とはまた価格差があり需給はタイト感があるのではないかと。雑誌の使用が国内の方が減ってきていて、在庫が多少増えてきている状況ではないかと。

〔オフイス古紙〕 輸出価格が下がってきた。雑誌が少し戻ってくる気配があるのではないかと。

〔集荷部〕 総会後は、集荷部の部長は、宮崎勝保氏、副部長は石橋駒雄氏となる。各支部、この集荷部委員の選出が、まだ出ていない支部があるので決まり次第、提出してほしい。集荷部の全体会議を年に1度くらいは行っていききたい。

価格修正があると、お客さまに過剰にサービス

をしてしまう傾向がある。価格修正があってもまだまだ低価格の状況なので諸問題について少しずつ調整をしていきたい。

〔広報部〕 5月号の広報は総会の内容を掲載する。役員改選等があり大幅に人事変更があるので5月号だけでなく順次紹介をしていきたい。発送は6月を予定している。

〔事業部〕 総会後は、事業部長を坂田智理事にお願いをします。副部長は、坂内さん（宏栄紙業）ともう一名を検討中。

先日の業務部長会議でISOコンサルティングオフイスより説明のあった厚生労働省による「労働時間等設定改善推進助成金制度」について理事会の賛同を受け承認をもらう。

〔青年部〕 4月24日に青年部主催による「施設見学会」吉野石膏と高砂紙業の会社訪問をした。各施設とも役員等が揃って大変暖かく迎えてくれた。5月9日に幹事会を開く。5月17日午後5時より青年部総会を開催する。青年部が幹事で5月13日（日）プレジデントカントリークラブで組合ゴルフコンペを行う予定である。

古紙センター
〔平成19年5月23日（水）〕

PM2時 於 古紙センター会議室

〔需要動向〕 07/4月 単位トン、（）は対前年同月比、在庫の（）は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入 92、984 (102.6%)
 出荷 93、063 (102.1%)
 在庫 8、468 (9.1%)

〔雑誌〕

仕入 69、714 (103.7%)
 出荷 68、911 (103.2%)
 在庫 10、232 (14.8%)

〔段ボール〕

仕入 132、452 (99.7%)
 出荷 132、474 (98.8%)
 在庫 10、984 (8.3%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

仕入 287、023 (109.3%)
 消費 246、382 (103.3%)
 在庫 191、855 (77.9%)

〔雑誌〕

仕入 133、186 (98.9%)
 消費 127、502 (97.0%)
 在庫 72、999 (57.3%)

〔段ボール〕

仕入 308、782 (104.2%)
 消費 308、050 (99.4%)
 在庫 92、627 (30.1%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 新聞の発生は、32社の数字で見ると102%と順調。配達ペーシ数が前月比85%、前年102%。チラシは前月比84%、で前年90%。産業古紙はパツとしない。回収

量は、5月は落ちてくるのではないか。

雑誌は月刊誌の発行部数が減っている。ペーシ数が少なく1月～3月で月刊誌が97・1%、週刊誌が99・2%。全体的に発行部数が減少傾向にある。雑誌の回収量は増えてくるのではないかと思われる。大阪市も行政で古紙回収が始まった。全体的な市況では中国の設備増強のスピードと数字とのギャップがかなり広がってきた。4・5・6月は調整期間ではないか。原料は調整局面で、底ではないかと思われる。

〔段ボール〕 3月の段ボールの輸出は113・7%と4月と同様の数字が出た。国慶節が終わってブーヤン地区でミックス古紙のオフアーが出だし、段ボール古紙にも変化が出てきている。チエンストア協会の4月の売上がマイナスで32社は前年割れをしている。各地区でも段ボールが良くない。

〔メーカー側コメント〕 新聞の回収量は、前月比で入荷108・6%、出荷93・2%、在庫126・9%、在庫率77・9%で発生期を迎えて一息と言う状況である。実際の輸入古紙の回収量は、前年比8・9%と年々伸びが鈍化している。輸出は、1～3月は対前年比で72・6%と全国的にマイナスの状態である。

段ボールは、生産量が前年比100～102%で4月後半に飲料関係の発生が多く伸びた。段古紙は、4月は2～3月よりは各社入荷ペースは良くなかった。在庫は3月・4月も変わらないう。5月の前半は、それなりの量で一息ついた状況。ただ5～6月の輸出関係で予断を許さな

い。

古紙センター

業務委員会 〔平成19年5月24日(木)〕

〔pm1:30～於〕 古紙再生促進センター
 〔1〕 古紙の需要・市況動向について

紙面の都合により、詳細数字は割愛させていただきます

〔2〕 集団回収実施団体への感謝状交付についてについて―九州地区委員会(5推薦団体)

〔3〕 平成19年度3R推進表彰の推薦について

〔4〕 関東地区における古紙品質調査事業の実施状況について

広報部長 清水弘弘

総会号は5月号を当てますので1ヶ月遅れの発行となりました。

今年は人事の年で総会にて理事長以下、メンバーが大幅に入れ替わりました。

新しく役についた皆さんには、順次抱負を紙上にて述べて頂きます。ご期待ください。

広報誌のあり方について、色々と意見を聞いております。

サイズをA5からA4に変えるべきだとか、縦書でなく横書きが時代の流れだとか、中身がああだとか、こうだとか。

この総会号は数えて253号ですし、組合の歴史は組合の前身から数え60年を経過しようとしています。だからこの辺で大きく変えた方が良いと言う意見が出ていますし、これまでの積み重ねを大切にしなければいけないと言う意見もあります。

いずれにしろ、広報誌は組合の意見を対外的に発信する場であり、組合員に様々な情報を提供する場である事は間違いありません。形はどうなるにしろ中身を充実したいものです。

広報部メンバーとして従来の清水部長、脇副部長に加え、高橋副部長を迎える事が出来ました。それに各支部長は広報部委員となつていま

すので各支部とのパイプ役を是非お願いいたします。広報が面白くないとか、役に立たないとか言われぬよう頑張りますので、これからもきめ細かい情報収集、原稿作成に、皆様のご協力をお願いいたします。